

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

医療機関コード	1310314732					
病院名	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院					
所在地	東京都港区虎ノ門二丁目2番2号					
管理者氏名	院長 門脇 孝					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	817床	0床	0床	0床	2床	819床
承認年月日	平成28年2月16日					

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	イ 紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	78.9 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	14,952 人
	②初診患者数	25,144 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	2,467 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	3,735 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	188.7 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	35,735 人

2 共同利用の実績

(1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	副院長・患者支援部部長
登録医療機関数	338 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	338 件

(2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	1,881 件
共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	1,881 件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	71.2 %
共同利用可能な医療機器	超音波（腹部、甲状腺波、心臓、ホルター心電図、頸動脈、下肢深部静脈、脳波）、末梢神経伝導、誘発筋電図、睡眠時無呼吸モニター、終夜睡眠ポリグラフ、尿素呼吸試験、内視鏡（上部、下部）、骨密度、核医学
共同利用可能な施設等	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 附属健康管理センター・画像診断センター

3 救急医療の提供の実績

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	7,128 (2,467)
救急搬送以外の救急患者数	5,105 (3,205)
合計 (うち初診患者数)	12,233 (5,672)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	重症救急患者を集中的に治療する集中治療室 (ICU・HCU・SCU) を有するとともに、急患処置室に以下の設備を配備し、24時間体制の受入体制を整備している。 CT装置 (1台)、一般撮影装置 (1台)、心電計 (2台)、輸液ポンプ (5台)、シリンジポンプ (4台)、除細動器 (2台)、腹部超音波装置 (2台)、生体情報モニタ (2台)
優先使用可能な病床数	5 床
専用病床数	0 床

(3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	13人	1人
うち専従数	1人	0人
看護師数 (准看護師含む)	18人	2人
うち専従数	15人	0人
薬剤師数	1人	0人
うち専従数	0人	0人
診療放射線技師数	2人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	3人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	2人	0人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	0人	0人

(4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	地域医療支援研修委員会
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	3 人
研修施設	国家公務員共済組合連合会虎の門病院 (講堂及び会議室を使用し、ハイブリッド及びWEB形式で開催) 赤坂インターシティコンファレンス The Okura Tokyo (曙の間)

(2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	14回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	14回
研修会延べ参加人数	1,365人
うち院外のための延べ参加人数	1,191人
症例検討会の開催回数	2回
医学・医療に関する講習会の開催回数	3回
研修の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●2024年4月18日(木) 第23回虎の門病院医療連携セミナー ●2024年4月21日(日) 2024年度第1回虎の門病院肝疾患診療連携研修会 ●2024年6月20日(木) 第35回虎の門がんセミナー ●2024年6月29日(土) 造血幹細胞移植推進拠点病院Webセミナー ●2024年7月14日(日) 2024年度第2回虎の門病院肝疾患診療連携研修会 ●2024年7月18日(木) 第24回虎の門病院医療連携セミナー ●2024年9月19日(木) 第36回虎の門がんセミナー ●2024年10月13日(日) 2024年度第3回虎の門病院肝疾患診療連携研修会 ●2024年11月16日(土) 造血幹細胞移植推進拠点病院Webセミナー ●2024年11月21日(木) 第37回虎の門がんセミナー ●2025年1月28日(火) 第3回虎の門病院腎代替療法セミナー ●2025年2月8日(土) 造血幹細胞移植推進拠点病院Webセミナー ●2025年2月17日(月) 第18回医療連携懇談会 <p>～虎の門病院2025 未来につなぐ連携機関とのパートナーシップ～</p> <p>【1】 虎の門病院における新しいPET診療のご紹介 【2】 新規手術支援ロボット“Hugo”を導入して</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ロボット支援前立腺全摘除術 ② ロボット支援大腸癌手術 <ul style="list-style-type: none"> ●2025年3月13日(木) 第38回虎の門がんセミナー

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	副院長・事務部長
管理担当者	総務課長
診療に関する諸記録の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・病院日誌・・・医事課にて保管。管理方法は紙媒体。 ・各診療日誌・・・総務課にて保管。管理方法は紙媒体。 ・処方せん・・・電子カルテ、薬剤部倉庫、外部倉庫にて保管。管理方法は紙媒体と電子媒体(紙処方せんの電磁的保管を含む。) ・手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書・・・電子カルテにて保管。管理方法は電子媒体。 ・エックス線写真・・・電子カルテにて保管。管理方法は電子媒体。 ・画像サーバは部門システムサーバ室(電子施錠あり)に設置し、他部門のサーバと一元管理している。管理端末は放射線部画像管理室(電子施錠あり)に設置し、専属職員(2名)が画像管理を行っている。 <p>※院内規定により診療記録の持ち出しは禁止している。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・共同利用の実績・・・患者支援部にて保管。管理方法は紙媒体及び電子媒体。 ・救急医療の提供の実績・・・医事課にて保管。管理方法は紙媒体及び電子媒体。 ・地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修会の実績・・・患者支援部にて保管。管理方法は紙媒体及び電子媒体。 ・閲覧実績・・・総務課にて保管。管理方法は紙媒体。 ・紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿・・・患者支援部にて保管。管理方法は紙媒体及び電子媒体。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	副院長・事務部長	
閲覧担当者	総務課長	
閲覧方法	虎の門病院病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する規則に則り、閲覧申請書にて申請受付。閲覧担当者は閲覧責任者に申請を行う。	
前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別延べ件数	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	地域医療支援病院運営委員会	
委員数		10 人
	うち院外	7 人
委員会の開催回数		4 回
委員会の概要	<p>外部委員は地域医師会代表、地域歯科医師会代表、地域薬剤師会代表、地域保健所代表、地域消防署代表、地域住民代表で構成。病院より救急搬送数や紹介・逆紹介率、返書状況等の定例報告および話題を提供している。外部委員からも情報提供があり、地域の状況やニーズについて協議、共有している。</p> <p>【開催日】</p> <p>第1回 2024年 6月27日(木)</p> <p>第2回 2024年 9月27日(木)</p> <p>第3回 2024年12月13日(金)</p> <p>第4回 2025年 2月17日(月)</p>	

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者支援センター内相談室（個室）	
主たる相談対応者	患者支援部部長、患者支援部課長、患者支援部課員	
相談件数		135 件
相談の概要	<p>職員の対応に関するご意見を多く頂いた。 (医師54%、事務22%、コメディカル16%、看護師 8%) ご意見の内容によっては、各部署の患者相談窓口担当者に連絡し対応および報告を依頼。患者相談窓口担当で週一回ミーティングを開催。院内規程により管理者を含めた担当で課題の共有と対策・改善を実施している。</p>	

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構：病院機能評価（一般病院2） 2020年1月24日～2025年1月23日 日本医療機能評価機構：病院機能評価（一般病院3） 2025年1月24日～2030年1月23日

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<p>情報発信の方法：ホームページや書籍、広報紙、講演会等により発信 内容等の概要： 医療安全を最優先事項とし、質の高い高度医療の提供を通じて、常に患者ファーストの医療を実践している。同時に、医療従事者にとっても働きがいがあり、選ばれる病院を目指して、以下の事項に取り組んでいる。</p> <p>(医療安全) 管理者による毎月の院内ラウンドをはじめ、インシデント報告の全例分析、全部署を対象としたヒアリングの実施等、組織的な医療安全文化の醸成に努めており、安心安全な医療提供に取り組んでいる。</p> <p>(高度医療の提供) 臓器別の専門診療を行うスペシャリストが揃っており、部門・診療科を超えたシームレスな連携により集学的医療の提供及び早期の治療開始・手術を実現している。また、低侵襲な鏡視下手術・ロボット支援下手術が強みであり、がん専門病院でも治療が難しい併存疾患を有する多くの患者を受け入れている。</p> <p>(救急医療) 当院は二次救急施設ではあるが、がん救急、脳卒中、循環器救急、外傷を中心に、三次救急相当の診療体制を有しており、近隣の三次救急施設から根本的治療を目的とした転院搬送を多く受入れている。コロナ禍においては、東京都の新型コロナ疑い地域救急医療センターとして、多くの患者を受け入れた。</p> <p>(施設認定) 地域医療支援病院、東京都災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、東京都肝疾患診療連携拠点病院、東京都脳卒中急性期医療機関等の認定に加え、専門医研修施設などの基幹施設としても認定されており、医療提供や相談体制、人材育成など、各分野における中核医療を担っている。</p> <p>(医療連携) 多岐にわたる診療科並びに全国有数の症例数を誇る診療科を数多く有しており、日本全国からの患者紹介を受け入れている。また、地域における診療受入体制として、診療科毎にホットラインを開設するとともに、日頃から近隣の病院や診療所を積極的に訪問して、地域医療のニーズの把握に努めている。</p>

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	構成人員：医療ソーシャルワーカー 20名、看護師 12名 患者支援部内に常勤専従の社会福祉士および専任の退院支援看護師を配置。急性期治療後の患者に対し、患者及び家族の意向を確認し、回復期リハビリテーション病院、地域包括ケア病棟、慢性期病院への転院、若しくは自宅等退院後の療養生活を安心して送ることができるよう支援体制を整えている。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	当院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けており、東京都のがん連携クリティカルパス（東京都医療連携手帳）を使用し、5大がん+前立腺がんの連携を行っている。乳がんについては、乳腺科クリニックからの紹介・逆紹介が多いため、うまく連携を取りながら連携クリティカルパスを活用している。